

青少年奉仕活動 こぼと学園園児とキッザニア甲子園入場

2026年
3月8日(日)

こぼと学園の子どもの職業体験事業として
キッザニア甲子園に行ってきました。



バスで挨拶する
奥村会長

出席者 奥村会長、柘岡幹事、北浦次期会長、
田中青少年奉仕委員長、山本次期青少年奉仕委員長

にこにこ箱

ありがとうございました

- 乾 敦雄さん 武一様、井尻様、本日はよろしくお願ひいたします。
- 乾 敦雄さん 妻に綺麗なお花ありがとうございます。
- 刀祢 真大さん 武一様、井尻様、本日はよろしくお願ひします。
- 奥村 申二さん 武一様、井尻様、本日の卓話よろしくお願ひします。
- 柘岡 一樹さん 和歌山子ども食堂連絡協議会武一副会長様、キッチン夢小屋井尻様
本日はよろしくお願ひします。
第30回例会よろしくお願ひします。
- 崎山 稔さん 第30回例会宜しくお願ひします。

本日の累計…11,000円(計5名6件) [お誕生日お祝い…370,000円 奥様花お礼…110,000円 出席献金…40,000円 その他…1,139,000円 累計…1,659,000円]

本日の例会 3月12日(木)

■卓話「アメリカに憧れて、日本が好きになった」
当クラブ会員 秦 啓介さん

■皆出席表彰
山本 進三さん 1年皆出席通算12年
内畑 雅年さん // 通算1年

■ピアノ演奏 中井 利枝さん
セピア色のスマイル(三枝 成章)
昼下がりのタイムスリップ(三枝 成章)

出席報告 会員数 57名(内出席規定適用免除会員6名) 3月5日(本日) 27名/53名 60.4%
村田 昌之 出席副委員長

次回の例会 3月19日(木)

■卓話 当クラブ会員 川村 正治さん

前回の例会 3月5日(木)

■クラブフォーラム「社会奉仕」

■卓話「和歌山子ども食堂連絡協議会の活動について」
和歌山子ども食堂連絡協議会 副会長 武一 薫さん
Kitchen夢小屋 代表 井尻 恵子さん

■ロータリーソング 村田 昌之 ソング副委員長
「君が代」「奉仕の理想」

皆さん、出席してください。

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日
例会場/ダイワロイネットホテル和歌山 〒640-8156 和歌山市七番丁26-1 TEL (073)435-3333・FAX (073)423-0057
事務局/〒640-8043 和歌山市福町49 和歌山中橋ビル503号室 TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845
会報・広報・IT委員会/細川 竜二 仲村 勝頼 田原 久一 例会日 木曜日 12時30分



2025-2026年度
和歌山東ロータリークラブ
のテーマ

つながりを力に、 未来につなぐ奉仕の心

2026年3月12日(木)
週報 VOL.67 No.31
(通巻3124)

UNITE FOR GOOD

2025-2026年度 国際ロータリー会長メッセージ

よいことのために手を取りあおう

国際ロータリー第2640地区

和歌山東ロータリークラブ

URL:http://www.werc.jp E-mail:info@werc.jp

会長報告

奥村 申二 会長



みなさん、こんにちは。本日は第30回例会にご出席いただき、ありがとうございます。

本日午前11時10分頃、和歌山県串本町のスペースポート紀伊から、小型ロケット「カイロス3号機」が打ち上げられましたが、ミッションを達成することが困難であるため、飛行が中断されました。

2024年3月の1号機は打ち上げ直後に爆発、その後の2号機も成功には至らず、今回の3号機に大きな注目が集まっていますが、非常に残念です。

このロケットについては、昨年10月に串本町役場企画課の名田様に卓話でお越しいただき、詳しくお話を伺ったことを覚えておられる方も多いと思います。開発しているのは日本の宇宙企業スペースワン社です。

今でこそ600回以上の打ち上げ実績があり、成功率99%以上を誇るスペースX社のロケットも最初からうまくいったわけではありません。

最初のロケットは「3回連続で失敗」して、4回目で初めて成功しています。

社長のイーロン・マスク本人が後に語っていますが、「最初の3回は失敗した。4回目が最後の資金だった」と。4回目が失敗していたらスペースX社は倒産していた可能性が高かったそうです。

現在、世界では宇宙ビジネスが急拡大しており、2023年時点で宇宙産業の市場規模は約55兆円とも言われています。その中でも特に増えているのが小型衛星で、アメリカのスペースX社の通信衛星「スターリンク」は、すでに6,000基以上が地球の周りを回っています。

今後は世界で10万基以上の小型衛星が打ち上げられるとも言われており、小型ロケットの需要は急速に高まっています。

カイロスもその小型ロケットに分類され、全長約18メートル、直径約1.35メートル、重量約23トンのロケットです。全長18メートルというと、乗用車を4台ほど並べた長さですので、かなりコンパクトなロケットです。

ちなみに日本の主力ロケットであるJAXAのH3ロケットは、全長63メートル、重量約574トンありますので、カイロスはその10分の1以下のサイズの小型衛星専用ロケットという位置づけになります。

カイロスのコンセプトは「必要な時に、必要な軌道へ、小型衛星を専用で打ち上げる」というもので、いわば宇宙版のタクシーのような存在です。

和歌山から宇宙への挑戦はこれからも続いていきます。

スペースX社と同様に4回目での成功を祈り、今後もしっかり注目していきたいと思います。

以上、会長報告とさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告

柘岡 一樹 幹事



- 3月ロータリーレートは、1ドル156円となります。
- こぼと学園福島園長より、3名の高校卒業にあたりお礼の手紙をいただいております。…………… 回覧

和歌山子ども食堂連絡協議会様に、お米200kgの目録を贈呈



クラブフォーラム「社会奉仕」

卓話「和歌山子ども食堂連絡協議会の活動について」

和歌山子ども食堂連絡協議会 副会長(事務局担当) 武一 薫 さん、Kitchen夢小屋 代表 井尻 恵子 さん



平素より大変お世話になっております。
和歌山子ども食堂連絡協議会の武一と申します。
子ども食堂の現状と当協議会へのご支援について、どのように活用させていただいたかご説明させていただきます。

子ども食堂は、地域住民等、様々な方や組織が運営し、子どもを中心に、いろいろな方への食事や居場所を提供することで、多世代交流、地域づくり、食育、孤食や貧困の解消、子どもの見守り等、様々な役割を担っています。

子ども食堂という名称で普及してきましたが、現状の活動や意義に照らせば「みんな食堂」というほうが分かりやすく実態を表しています。

子ども食堂設置数ですが全国、また本県でも年々増えており、県内では2022年には約50か所でしたが、今は約150か所を超えています。

多くの子どもや、そのご家庭、また、多世代に渡る皆様に必要とされ、おかげさまで子ども食堂開催時は賑わっていて、回を重ねるごとに参加者様が増え、子ども食堂運営者が、その対応にうれしいことですが「どのように安全に実施しようか」と悩まれている団体もある程です。

次に、和歌山東ロータリークラブ様からの長年に渡る当協議会への支援により、どのように役立っているかについて是非、ご報告させていただきます。

まず、当協議会は2021年4月1日に、各子ども食堂間の連携や情報共有、技術向上支援を目的に任意団体として発足し現在では会員団体13団体を中心となり運営しています。

当協議会発足当初から和歌山東ロータリークラブ様にはご支援を賜り、このお力添えによりおかげさまで、今では和歌山市のみならず県内の子ども食堂、児童養護施設、また、会員以外団体も含め対象として当協議会における各種支援事業を実施しています。

次に、今年度ご支援賜りましたお米について、各子ども食堂での活動にどのように役立ったかについてご報告させていただきます。

昨年4月と5月の2回、お米2キロ袋を100袋としてご支援いただき当協議会における団体活動支援事業として希望する10団体への配布をいたしました。

各子ども食堂では、子ども食堂開催時に、また、困難な事情を抱える家庭への食材配布として活用しました。

このお米支援に関して、子ども食堂の開催回数では35回、その参加者数では1809人であったと報告を頂いています。

子ども食堂開催時の様子などについて、次のように和歌

山東ロータリークラブ様への感謝も込めて報告がありましたのでご紹介させていただきます。

- ・物価高騰、お米の値段が上がっており、毎回6〜7升のお米を炊いている私たちにはかなりの痛手でした。ご支援をいただけたことで、2ヶ月多くの方に美味しいお米をお腹いっぱい食べて貰うことができました。
- ・今後たくさんの方の安心できる居場所となっていくために、活動を続けて参ります。ありがとうございました。
- ・私たちの運営する子ども食堂へ、多大なるお米のご寄付を、誠にありがとうございました。スタッフ一同、心より感謝申し上げます。
- ・子どもたちに温かく美味しいご飯をお腹いっぱい届けることができ、炊き立てのご飯の香りに子どもたちの顔がパッと明るくなったのが印象的でした。
- ・「いつも温かいご飯をありがとう！」と笑顔で話してくれる子。「みんなで食べたら美味しいなあ」、「お腹いっぱい食べたら、また明日から元気になれるよね!」と、おかわりを頼る子の様子でした。
- ・子どもたちの純粋な姿を見て、私たちも改めて食の大切さと地域の繋がり、そしてご支援頂く皆様に支えられている有難さに感謝いたしました。
- ・お送りいただいたお米は、子どもたちの身体を育むだけでなく、心の栄養にもつながっています。
- ・温かいご支援があるからこそ、この場所を継続していくことができます。
- ・米の品薄と、価格高騰の最中、ご寄付でお米をいただける機会も減っていた頃でした。
- ・予算も限られ、一時はご飯無しで、おかずだけのパックにするかも検討しておりましたが、おかげさまで、ご飯も入ったお弁当として、多くのご家庭、子どもさん達に喜んでいただくことができました!
- ・お米の値段が高く、店頭には並ばないといった時期もありましたが、ご寄付いただいたお米があったので安心して子供食堂を開催することができました。
- ・食堂に来てくださった保護者のかたより、「お米高いのに、おかわりいいんですか?」と、お声をいただき、東ロータリークラブさんからの寄付をいただいていることをつたえさせていただきました。
- ・調味料として使っている、米麴の仕込みにもついています。
- ・ひとり親の家庭に食品配布をしております。お米が高騰しているため親御さんから大変喜ばれました。
- ・おにぎりが好きな子どものお家は、とても助かると言われていました。
- ・お米を寄付していただくと、ほかの食品や野菜を購入して、

- ・お渡しできるので大変ありがたかったです。感謝です。
- ・お米の値段が上がっている時なので助かりました。
- ・夏休みの親子食堂に活用、公園で水遊びのあとなので、カレーのお代わりが多くてご飯を追加で炊くのに役立ちました。
- ・物価高騰の折、子どもたちに心置きなくお替りさせてあげられました。
- ・食費を抑えるため麺類、粉もんを活用していましたが、やはりお米はもりもり食べてくれました。
- ・応援してくださっている方々がおられることにとっても心強さを感じました。

以上が、お米のご支援を賜りました各子ども食堂から預かってきました、和歌山東ロータリークラブ様への感謝の気持ち、また、どのように活用できたかのコメントでした。

あらためて、各子ども食堂を代表しまして、感謝の気持ちをお伝えさせていただきます。

ご支援ありがとうございました!

最後に、子ども食堂運営における課題について触れさせていただきます。

子ども食堂は、運営者の熱い思いから開設、ほとんどがボランティアによる運営、資金の確保にはいつも悩まされています。また、子ども食堂の利用者や期待されるニーズの増加など、ますます、また、さまざまな事情により多くの方々や地域から求められる存在ともなっています。

このため、当協議会は今後も子ども食堂活動への支援強化や継続はなくてはならないことだと実感していますが、当協議会もまた一民間団体で行政等からの支援もなく運営費捻出には厳しい状態です。

このような中、和歌山東ロータリークラブ様のご理解や多大なご支援があればこそその支援活動です。このため、大変恐縮ではありますが、今後とも是非、ご支援の程お願い申し上げます。

いつもありがとうございます。

社会奉仕委員会活動 七ぼと学園に 災害時用備蓄用品寄贈

2026年3月5日(木)

アルファ米ごはん、災害救助用クラッカー、7年保存水

出席者 奥村会長、枘岡幹事、乾社会奉仕委員長、栗本副委員長

和歌山市内9ロータリークラブ インターシティミーティング(I.M.) 開催

2026年3月7日(土) アバローム紀の国

和歌山市内9ロータリークラブ、会員相互の親睦を深めよう

UNITE FOR GOOD

よいこのために 手を繋ぎあおう

ロータリークラブ、会員相互の親睦

クラブの親睦活動について発表する 枘岡幹事

和歌山中ロータリークラブ 創立40周年 記念式典

2026年2月20日(金) サンクシェール

出席者 奥村会長、枘岡幹事